

ソーラー発電利用の換気扇なら建物の湿気対策に効果あり

高温多湿の日本の風土に立つ建築物にとって最大の敵は「湿気」である。

湿気は換気を十分に行えば簡単に解決できるが、昨今の高気密・高断熱の建物では自然通風が出来ず強制換気に頼るしかない。

24時間換気扇について

最近では24時間稼働の換気扇設置の戸建・マンションを見かけますが、これは平成15年に施行されたシックハウス対策に係る法令改正で義務づけられた設備で、湿気対策用ではありません。24時間換気扇が稼働していれば、確かに湿気対策にもなりますが、問題は夜間や雨天日の湿度の高い時に換気扇を稼働すれば当然、湿度の高い外気を取り込む事になり、逆効果になってしまいます。シックハウス対策用24時間換気扇の風量は、居室の0.5/h容積の換気を満たすものですから、湿気を大量に取り込む心配は有りません。

ソーラー発電利用の換気扇とは

ソーラー発電を電源として稼働する換気扇、日照がある時にしか運転しませんから、夜間や雨天日は運転休止の換気扇。電気代無し、スイッチ操作不要で自動稼働の換気扇。

ソーラー発電利用の換気扇の導入メリット

ソーラー換気扇を建物の湿気の溜まりやすい場所に設置すると、湿気を効率よく排除できる。夜間や雨天日は運転停止で湿度の高い空気を取り込まず、乾いた空気しか取り込まないので、乾燥状態を持続する事が出来る。スイッチ操作することなく全て日照がコントロール、当然電気代も掛からない。床下・屋根裏換気に威力を発揮する。CO2排出ゼロで地球温暖化にも貢献。

用途

一般住宅・マンション・別荘・倉庫・農事用ビニールハウス・その他湿気を嫌う設備など。長期留守の家や長期転勤で空き家になっているマンションなどに設置しますと、電気代無しで確実な換気が出来可能。

ソーラー・カンキ社のソーラー換気扇の特徴

実用新案登録済みの弊社オリジナルソーラー換気扇だから安心・安全の換気が出来る。ステンレス製ベントキャップが換気扇だから、既存の自然通気口と差し替えるだけで、強制換気扇となる。雨水・風・虫の侵入を完全にシャットアウトできる乾気扇。

●一般換気扇とソーラー発電換気扇との比較

一般換気扇	ソーラー発電換気扇
AC100V(商用電源)	DC12V
ACモーター	DCモーター
消費電力大	消費電力小
スイッチ操作必要	スイッチ操作無し(基本的には)
雨天日:稼働	雨天日:停止
夜間:稼働	夜間:停止
電気代必要	電気代不要
電源必要	電源無し
安全性(電圧が高いため発火の危険有り)	安全性(低電圧・低容量で発火の危険無し)